学校番号	315

令和８年度　地理歴史科

教科	地歴	科目	世界史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	詳説世界史（山川出版社）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー（帝国書院） ウイニングコンパス（東京法令出版編集部）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合で学習した歴史の学び方を活用して、世界の歴史の大きな役割と展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解を深めていきます。そして事象の意味や意義、特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に、歴史的経緯をふまえて地球世界の課題を探究していきます。

・学習内容や課題に対して、自分の考えや意見を導き出し表現する力が必要です。そのため、周りの人と対話をしながら自分の考えを表現し、積極的に発表し、議論に参加してください。
・知識の定着のために授業内で小テストを実施します。復習して学習内容を振り返る習慣をつけてください。
・授業時間内の学習内容だけでなく、自らさらに学びを深めていきましょう。ノートやプリントに自ら学びを進めていったことを整理していきましょう。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	世界史へのまなざし	１．地球環境からみる人類の歴史 ２．日常生活からみる世界の歴史	a: 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。また、今日の社会で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解している。 b: 長期にわたる地球気温の変化を示す詳資料等をもとに、地球の自然環境が直面している危機およびその克服へ向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。また、日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 c: 自然環境と人類の進化、および日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小ﾃｽﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
1	諸地域の歴史	第Ⅰ部を学ぶ前に	a: 身分・階級，王権，宗教，文化・思想などに関する資料から情報を読みとったり，まとめたりする技能を身につけている	小ﾃｽﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ

	的特質の形成		b：文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c：古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			振り返りシート
		第１章 文明の成立と古代文明の特質	a：オリエント文明，インダス文明，南アアジアの文明、中国文明などを基に，古代文明の歴史的特質を理解している。 b：オリエント文明，インダス文明，南アアジアの文明、中国文明などを基に、古代文明が当時の社会や世界の歴史に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現している。 c：オリエント文明，インダス文明，南アアジアの文明、中国文明などを基に、古代文明について自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
		第２章　中央ユーラシアと東アジア世界	a：中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活の様子、彼らと周辺の諸勢力との関係を理解している。また、秦・漢といった統一国家の支配体制や、続く魏晋南北朝の動乱の展開、さらに隋・唐の社会や制度・支配体制を、遊牧民との関わりもふまえたうえで理解している。 b：風土を示す写真や貨幣などの考古学的資料、『史記』などの文献資料、「女史箴図」などの図像資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向や、秦から唐にかけての中国社会の特徴および近隣諸国への影響を、多面的・多角的に考察し表現している。 c：中央ユーラシアの動向や秦・漢帝国、魏晋南北朝の動乱、および東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
1		第３章　南アジア世界と東南アジア世界の展開	a：仏教やジャイナ教など、南アジアで生まれたさまざまな宗教が南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解し	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ

			ている。また、東南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。 b: 仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえたうえで、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を、諸資料を用いて多面的・多角的に考察し表現している。また、東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を、多面的・多角的に考察し表現している。 c: 南アジアで生まれた諸宗教やインド古典文化、また東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			振り返りシート
		第４章　西アジアと地中海周辺の国家形成	a:イラン諸国家興亡の展開や、ギリシア人都市国家における民主政の出現、都市国家ローマが帝国にいたるまでの過程、キリスト教とローマ帝国の関係の変遷を理解している。 b: ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案やモザイク壁画などの図像資料や、オストラコンなどの考古学的資料、さまざまな文献資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響やギリシア人の社会の特徴、ローマ帝国繁栄の要因、キリスト教が急速に普及した理由を、多面的・多角的に考察し表現している。 c: イラン文明や古代ギリシア・ローマ世界、またキリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
		第５章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	a: イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。また、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのように独自の世界を形成していったのかを理解している。 b: イスラーム政権の拡大を示す地図や図像資料、ヨーロッパ世界の荘園構造を示す概念図等の資料をもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響や、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を、多面的・多角的に考察し表現している。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			c: イスラーム教の成立と拡大およびヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問，追究してみたいことなどを見いだし，見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
2	諸地域の交流・再編	第Ⅱ部を学ぶ前に	a: 13 世紀において諸地域でおこなわれていた交易の特徴について、諸資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 b: 諸地域の交流・再編に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながり等に着目し、諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 c: 諸地域の交流・再編について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	小ﾃｽﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
		第６章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向	a: 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカでどのようにイスラーム化が進行したかを理解している。また、アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一が失われた一方で、経済・文化の交流を通じてムスリムの連帯が維持されたことを理解している。 b: トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を、『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、多面的・多角的に考察し表現している。 c: イスラーム教の各地への伝播や変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
		第７章　ヨーロッパ世界の変容と展開	a: 西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴、また封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程、および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動について理解している。さらに、ビザンツ帝国の衰退の過程と、スラヴ人の動向について理解している。 b: 地図や図像資料、大憲章や金印勅書などの資料をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響および中央集権国家の形成	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			に向けた各国の動きの共通点と相違点を多面的・多角的に考察し表現している。また、西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係をふまえたうえで、ビザンツ帝国の衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 c：西ヨーロッパ世界やその変容、および東ヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
		第８章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国	a：10～12 世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。また、また、モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そしてその支配は社会にどんな影響を与えたのか理解している。 b：「清明上河図」などの図像資料など諸資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引きおこした変化を多面的・多角的に考察し表現している。また、モンゴル帝国の最大領域を示す地図などの資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義と、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。 c：10～12 世紀の東アジアおよびモンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
		第９章　大交易・大交流の時代	a：「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。また、ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 b：「南蛮屏風」などの諸資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。また、ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			c: アジア交易世界およびヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
		第 10 章　アジアの諸帝国の繁栄	a: オスマン帝国とサファヴィー朝の支配確立の経緯とその統治体制ムガル帝国のおける非ムスリムに対する施策・統治の変遷を理解している。また、清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係を理解している。 b: オスマン帝国とサファヴィー朝を比較し、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。また、ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。さらに、皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 c: オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国、さらに清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問, 追究してみたいことなどを見いだし, 見通しを持って学習に取り組もうとしている。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
		第 11 章　近世ヨーロッパ世界の動向	a: ルネサンスの特徴や後世に与えた影響、また新宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布、主権国家および主権国家体制の成立、北欧・東欧の各国の関係の推移や、その改革の内容、科学革命と呼ばれる一連の変化が生じた背景を理解している。 b: 美術作品などの図像資料や「九十五カ条の論題」などの諸資料を用いて、ルネサンスの新しさと古さ、宗教改革の動きが広まった要因、主権国家体制の成立と戦争の関係、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響、さらに科学革命が社会に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現している。 c: ルネサンスや宗教改革、主権国家体制の成立、北欧・東欧諸国の動向、科学革命と啓	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。			
2	諸地域の結合と変容	第 12 章　産業革命と環大西洋革命	a:産業革命が 18 世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開、アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのか、フランス革命がおこった要因やナポレオンが台頭した背景、中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。 b: 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響や、アメリカ独立宣言や「権利の章典」などの資料を基にアメリカ合衆国独立の独自性、「旧体制」の風刺画などの図像資や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたこと、中南米諸国の独立年を表す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢を踏まえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: イギリス産業革命・アメリカ合衆国の独立・フランス革命とナポレオン・中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りｼｰﾄ
		第 13 章　イギリスの優位と欧米国民国家の形成	a: ・19 世紀のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や 1848 年革命の様々な主義主張や時代的な背景や各国の共通点・相違点などを踏まえて理解している。 ・南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 ・19 世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。 b: ・ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各国の人々に与えた影響を多面的・多角的に考	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りｼｰﾄ

			察し、表現している。 ・鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19 世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・19 世紀欧米文化の様々な事例をもとに、この時期の文化と現代の文化とのつながりを多面的・多角的に考察し、表現している。 c: ・ウィーン体制・19 世紀後半のヨーロッパの再編成・アメリカ合衆国の発展・19 世紀の欧米の文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			
		第 14 章 アジア諸地域の動揺	a: ・オスマン帝国・イラン・アフガニスタンにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係とも合わせて理解している。 ・ヨーロッパ各国による南アジアの植民地化の経緯を理解している。 ・欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 b: ・マムルークの一掃を表した図像資料やオスマン帝国憲法などの資料をもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、南アジアと東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 ・文字資料「マカートニーの 1794 年１月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをも	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			とに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 c: ・西アジアの変容、東南アジア・南アジアの植民地化、東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			
3		第 15 章　帝国主義とアジアの民族運動	a: ・第２次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 ・列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 ・アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 b: ・国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。 ・列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c:第二次産業革命と帝国主義、列強の世界分割、アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。	考査 小ﾃｽﾄ	考査 ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート
		第 16 章　第一次世界大戦と世界の変容	a: ・第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 ・第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 ・第一次世界大戦がアジア・アフリカの各	小ﾃｽﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			地に与えた影響を理解する。 b: ・塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ・各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920 年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ・民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			
		第 17 章　第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	a: ・世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 ・第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 ・第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 b: ・政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や□介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などをもとにファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。 ・戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」	小ﾃｽﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 ・各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 c：世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊、第二次世界大戦、第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			
	地球世界の課題	第 18 章　冷戦と第三世界の台頭	a: ・冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 ・冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 ・ベトナム戦争をはじめとする 1960 年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。 b: ・先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。 ・当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第２次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・1960 年代の各地の様子を写した図像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c:冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺について自分が抱	小ﾃｽﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート

			いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			
		第19章　冷戦の終結と今日の世界	a: ・1960～1980 年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。 ・冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 ・冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。 ・現代思想・文化の特徴をそれまでの文化・思想と比較したうえで理解している。 ・設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。 b: ・原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・1990 年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 ・各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。 ・芸術作品を示した図像資料やジェンダー＝ギャップ指数を示した統計資料などをもとに、人々の世界観や生活のありようの変化を多面的・多角的に考察し表現している。 ・地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c: オイル＝ショックとその影響、冷戦の終	レポート	レポート	レポート

			結、今日の世界が抱えている課題、現代文明の諸相、地球世界の課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習にとりくもうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度